(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

FI

(11)特許出願公表番号

特表平6-500910

(43)公表日 平成6年(1994)1月27日

第7部門第3区分

(51) Int.Cl.⁶

庁内整理番号 識別記号

H 0 4 N 7/00

A 9187-5C

7/01

9187-5C G

> 宋韻宋 宋韻査審 予備審査請求 未請求(全 8 頁)

(21)出願番号

特願平5-501373

(86) (22)出願日

平成4年(1992)6月26日

(85) 翻訳文提出日

平成5年(1993)3月1日

(86) 国際出願番号

PCT/FR92/00592

(87)国際公開番号

WO93/00773

(87)国際公開日

平成5年(1993)1月7日

(31) 優先權主張番号

(32)優先日

91/08005 1991年6月27日

(33) 優先権主張国

フランス (FR)

(81)指定国

EP(AT, BE, CH, DE,

DK. ES, FR, GB, GR, IT, LU, MC, N

L, SE), JP, KR, US

(71)出願人 トムソン コンシュメ エレクトロニクス

フランス国 92400 クールヴポワ ラ

デファンス 5 プラス デ ヴォージュ

ギロッテル, フィリップ (72)発明者

フランス国 92045 パリ ラ デファン

ス セデックス 67 トムソンーセーエス

エフ エスセーペーイー

(72)発明者 シュポー、ベルトラン

フランス国 92045 パリ ラ デファン

ス セデックス 67 トムソンーセーエス

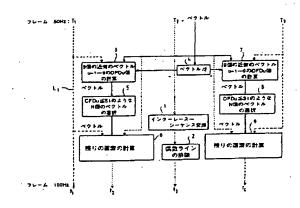
エフ エスセーペーイー

(74)代理人 弁理士 越場 隆

(54) 【発明の名称】 動画像のシーケンスのタイミングの変換方法

(57)【要約】 (修正有)

本発明は、フレーム周波数 F を、 f = (N/N') F 等 のフレーム周波数 f に変換することのできる動画像のシ ーケッスのタイミング変換する方法に関する。この方法 は、2N'個の既知の連続した画像T_{2N k+1}~T_{2N' k+2N'} から2N個の連続した画像 t znk+1~ t znk+zn を生成す ることからなる。但し、奇数画像 T z w k+1、 T z w k+xの 画素は少なくともそれらの輝度値によって決定され、一 方、少なくとも偶数画像T₂パム+2、T₂パk+4、・・・の画 素は少なくともそれらの輝度値と運動ベクトルによっ て決定され、既知の画像Tュパルーュをコピーする (L゚)こ とによって発生すべき画像 t zkk+1を決定し、既知の画像 Т z н' k + н' のインターレースを解き (1)、第2のライン を全て保持する(2)ことによって、画像 t znx+1を決定 し、既知の画像から運動補正時間的内挿によって2N-2個の残りの画像を決定することを含む。特に、HD-MAC状況で、周波数を2倍にするために使用される。



持表平6-500910(2)

- 4. 上記画像T sursum の運動ベクトルのフィールドは、T sursum を囲む限知の画像T sursum 1 、T sursum 1 から対称に評価された p×p個の国第 (p≥1)のブロックを存するブロックベクトルフィールドであることを特徴とする第次項1~3のいずれか1項に記載の方法。

路次の範囲

- (2) 既知の面像Tzararar のインダーレースを解き、第2のライン全で保持することによって、生成すべき函像 t zaarar を決定し、
- (3) 既知の画像から連動補正時間的内押法によって2N-2個の現りの画像を決定する、 処理を実施することを特徴とする方法。
- 3. 上記空間一時間フィルタは、上記の処理される適乗と組み合わされた運動ベクトルに沿った方向を向いていることを特散とする清水項2に記載の方法。
- 7. 内障されるべき面像の囲素の輝度値を計算するために、D FDが関値の範囲内で最小DFDに近い全での運動ベクトルを 使用することを特徴とする疎水項6に記載の方法。
- 8. 近傍の空間座標を育する偶数の既知の画像で、と囲む2つ の奇数画像で、...及びて、...から内障されるべき画像の画業 X...。 の輝度値は、下記の等式:
- 」 画像 t 。 が画像 T •・・ と T •・ との間にある時、

$$I_{*,*}(t_0) = \frac{\sum_{i=1}^{n} \left[X_{1,i}(-\overrightarrow{V_{i}} \times \frac{1}{A} T_{*,-1}) + X_{1,i}(\overrightarrow{V_{*}} \times \frac{A-1}{A} T_{*,-1}) \right]}{1 + \frac{1}{A} T_{*,-1}}$$

(但し、上記式において、m≤n×n及びAは函像閉距離による)

2 画像 t、が画像下、と下・・・との間にある時、

$$I_{1}(t,q) = \frac{\sum_{i=1}^{n} \left[X_{i+1}(-\overrightarrow{\forall u} \times \frac{1}{A} T_{q-1}) + X_{i+1}(\overrightarrow{\forall v} \times \frac{A-1}{A} T_{q-1}) \right]}{t}$$

(但し、上記式において、m≤n×n及びAは画像間距離による)

によって得られることを特徴とする方法。

- 9. 母知の価値T・・・、T・・、T・・・・の点 X・・・(V・、T・・)の輝度値は、双一次式内様によって得られることを特徴とする 請求項 8 に記載の方法。
- 10. 時 t sen.; 、・・・ t see.s に対応する連続した画像の画 森のクロミナンス値は、AABB型の既知のソース画像の反復

を実施することによって得られることを特徴とする論求項1~ 9のいずれか1項に記載の方法。

- 12. クロミナンス値は、ベクトルを再配置する時、DFDを計算するために使用されることを特徴とする請求項11に記載の方
- 13、 HD-MAC型のチレビ商像からなる動画像の場合、80mm チャネルの偶数画像には、客運動ベクトルフィールドが割り当 てられていることを特徴とする請求項1~11のいずれか1項に 記載の方法。
- (1) 既知の函像T.、T.、・・・T., そコピーすることによって発生すべき画像 t.、t.、・・・t., を決定し、
- ② 概知の画像T。、T.、・・・・Tinのインターレースを解き、 第2のラインを全て保持することによって、生成すべき画像tin tin、・・・tinnを決定し、
- (3) 段知の画像から運動補正時間的内障によって、 to、 to、

等の残りの面像を決定する。

操作を実施することを特徴とする情求項 1~13のいずれか 1 項に記載の方法。

特表平6-500910 (3) 明 超 書 助面位のシーケンスのタイミングの変換方法

・本発明は、動画像のシーケンス、特に、テレビ画像のシーケーシスのタイミングの安装方法に関するものである。

理在、テレビ画像は、境格によって、50Hzまたは60Hzのフレ ーム周波数で、伝送される。これらのフレーム周波数は、特に、 輝度が極めて高い領域でフリッカ現象を生じさせるという欠点 がある。この現象は、スクリーンが大きいほど、視覚的に厄介 になる。そこで、近年、極めて多数の所望されない現象を排験 することによって、テレビ画像の品質を改良することが研究さ れてきた。その結果、フリッカを解消するために、50Hz規格で、 フレーム周波数を2倍にする、すなわち、50Hzから100Hz への 変技を実施することが提案された。現在では、この変換を実施 することが可能な複数の方法が知られている。これらの方法と しては、AABB型またはABAB型のフレーム反復による方 **法が挙げられる。これらの方法は、例えば、1989年にトリノで** 行われた第3回国際HDTVワークショップ (3rd International Workshop on KOTV) で発表されたビー。ハーヴィスト (P. Haavisto)、 ジュー、ジュホラ (J. Juhola)及びワイ、スーポ (Y. Heuvo) によ る「適応化質み付け中央フィルタリングを使用する走査速度向 上変換 (Scan Rate up Conversions using adaptative weighted median filtering)」と題する論文に記載されている。この種 の方法は、空間的には欠陥を導入しないが、進動が速いほどち らつきが目に付く。また、空間的、時間的または空間一時間的 一次フィルタの使用が公知である。この種のフィルタは、特に、 1988年ラキラ(イタリア)でのHDTVの信号処理についての 第2回国際ワークショップでのディ、エム、アックロイド(D.H.

Ackroyd)及びエム、ウェストン(M. Meston)による「内様式イン クーレーステレビ断像 (Interpolating Interlaced Telelvision Pictures) 」に記載されている。これらのフィルタによって、 実施の複雑性と結果の品質との間でより良い妥協を得ることが できる。しかしながら、フィルタは、画像の紋明度が失われる。

上記の技術は、実施するのが容易である。しかしながら、フリッカの問題の一部分を解決するだけであり、ちらつき及び/または鮮明度等の欠陥を示し、これらの欠陥は運動が速いほど目立つ。これらの問題を解決するために、特に高品位テレビの分野では、運動地正内博技術が実施されている。これらの技術の例は、特に、1987年、オランダのノルトワイケルホト(Hordwei)kerhout) で行われた1888-AASP & Eurahip の多次元信号の処理に関する第5回セミナーのトーマス ロイター(Thomas Reuter) による「高品位テレビ規格変換(KDTV Standerds Conversion)」と疑する論文に記載されている。これらの技術は、特別を著し向上させ、検出された運動が正確な時隔めて遅れた品質の画位を得ることを可能にする。しかしながら、これらの技術は、特に可能なかぎり正確な結果を得ようとすると、生めて複雑である。

使って、本発明は、良好な函像品質を得ることができ、同時 に、実施が比較的単純で、コストが低い、動画像のシーケンス のタイミングを変換する新規な方法を提供することを目的とす る。

本発明は、また、特に、HD-MAC状況で実施が容易な動 画像のシーケンスのタイミングを変換する新規な方法を提供す ることを目的とする。

本発明は、さらに、フレーム周波数ドから!=(N/N')F

等のフレーム周放数(への変換に使用できる画像のタイミング を変換する新規な方法を提供することを目的とする。

- (1) 展知の関像T・*・・・・をコピーすることによって生成すべき 画像:***・・・・を決定し、
- (3) 殴知の面像から運動補正時間的内澤法によって 2 N 2 個の幾りの画像を快定する、
- ことによって特徴付けられる方法である。

フレーム周波数ドをフレーム周波数 f に変換しなければらない時いつでも実施できる動画像のシーケンスのタイミングを変換するこの方法は、この場合、運動ベクトルが少なくとも40ms モード及び20msモードで、デジタルアシスタンスチャネルDATVによって伝送されるので、毎に、HD-MAC状況に適している。

この方法は、特に、50Hzから60Hzまたは50Hzから100Hz への

変換等のフレーム周波数変換に適用される。

好ましい」実施例によると、画像Tァル・のインターレースを解くのは、好ましくは、処理される面条に起み合わされた連助ペクトルに沿った方向を向いた空間一時間フィルタによって実施される。

本発明の別の特徴によると、時 t ***・・・・ t ***・・・・ に対応する連続した題像の創業のクロミナンス値は、AABB型の既知の適切なソース画像の反復を実施することによって得られる。

また、本発明のさらに別の特徴によると、HD-MAC型のテレビ関係からなる動態像の場合、80msチャネルの偶数圏像は、 を運動ペクトルフィールドに割り当てられている。

本発明のその他の特徴及び利点は、影付図面を参照して行う 以下の行ましい実施例の説明から明らかになろう。

第1図は、50Mzの周波数の入力面像と本発明の方法によって

の耐点に関定されており、20msモード及び40esモードで1つの 面像につき16×16の画来のブロックについて計算される。これ らの運動ペクトルは、例えば、「面像シーケンスの運動の予測 及び階層コード化の方法及び設置」という題で、トムソン コ ンシュメ エレクトロニクス(Thomson Ecosomer Blectronics) により1989年8月29日に出願されたフランス国特許出願第89/ 11328 号に記載のようなブロックー帰納-階層型運動予測器を 使用して得られる。HD-MACのコード及びデコードのより 詳細の記載については、例えば、1989年のトリノ(イタリア) でのHDTVに関する第3回国際ワークショップで発表された アイアール、エフ、ダブリュー、ピー、ヴリースワイク(IR.P. M. P. Freeswijk)とエム、アール、ハギリ(M. R. Baghiri) による 「Mac両立式放送HDTV信号のHD-MACコード化(HD-MAC Coding for Nac compatible Broad Casting HOTV signals) J と騒する論文を容照することができる。従って、特に、HDー MACは号に関して、2倍の周波数フレーム、すなわち、フレ ームしょ、しょ、しょ、しゃ、または、より一般的には、フレーム touris touris ・・・・、touriouを、フレームTourisis Timesia ・・・、すなわち、Ti 、Ti 及びTi から構成す るために、フレームT,及びT。の場合は、第1回に十字で示 した涵虫Pの調度とクロミナンスの値を使用し、フレームTa の場合は菌素Pの輝度とクロミナンスの値とは別に、対称に評 価され、第1図にベクトル+V及び-Vによって示した運動ベ クトルのフィールドを使用する。本発明によると、開始フレー ム腐蚀数の2倍のフレーム周波数を有するフレームしい、しい tゝ、t,は、以下の段階を実施することによって得られる。す なわち、フレームし、の円で示す画素P,を得るために、フレ

特表平6-500910 (4)

得られる100Kz の周波数の出力画像の時間的な既略図であり、 第2回は、本発明の方法による1つの設備で使用される空間 -時間フィルタの動作を説明する概略図であり、

第3回は、本発明の方法の第3段階による顧嫌の再構成を示す概略回であり、

第4回は、周波数を2倍にした場合の方法の様々な段階のシステム概略図であり、

第5回は、5082の周波数の入力面像と本発明の方法によって 得られる6082の周波数の出力面像の時間的な振時回である。

最初に、HD-MACアプリケーションの状況で508zから100 Nzへのフレーム周波数変換を参照して、本発明を説明する。し かしながら、本発明は、周波数アから、下記の式:

f = (N / N') F

で表される周波数「へのタイミング変換に応用できることは当 意者には明らかである。また、本発明の方法は、HD-MAC 以外の用途にも使用できる。さらに、この説明では、「フレー ム」または「関像」という番は、区別せずに使用される。

本発明の状況で提示した問題によると、50H2のフレーム 周波 数で伝送されるフレーム T,、T,、T,から100B2 の周波数の4つのフレーム t,、t,、t,、t,を再構成することが求められている。 実際、HD-MAC型の信号に関して、特にHD-MACデューダのレベルで、 医素Pの輝度及びクロミナンスに関する情報とは別に、40msモード及び20msモードのデジタルアシスタンスチャネル(DATV)によって伝送される運動ペクトル等の他の情報がある。 既知の方法では、これらの運動ペクトルは、この特定の用途の状况において、完全な精度を育し、その幅は重直方向に約11個の適素及び水平方向に約31個

ームT、をコピーする。フレームt。の簡素P、を得るために、フレームT、のインターレースを解き、生じた奇数ラインの保存を実施し、フレームt。及びt。の簡素P。を得るために、運動補正時間的内様を使用して、これらの商業を形成する。

フレームで、のインターレースを解き、フレーム t。 を形成する段階及びフレーム t。 及び t。 を形成する段階を以下に辞細に説明する。 但し、コピーは、直線前進型國優メモリを使用して容易に実施される。

フレームTェのインターレースを解くために、好ましては、 空間-時間フィルタを使用する。本発明の状況では、このフィ ルタは、第2回に示すように、T、、T、、T、、次にT、、T、、 T。、・・・毎の3つのフレームに対して作用する。さらに、 結果を向上させるために、フィルタは、運動の方向に沿った方 向を向く。従って、第2図に示すように、フレームt。に属す る函去P,を得るために、フレームT。の4つの磁盘とフレー ムT、及びT。の3つの顧素を使用する。さらに詳しく言えば、 フレーム丁』では、同じ慎座様で西乗P』を含む4つの画乗P を取り出す。これらの國土は、例えば、最初の2つの國業には 係数15が、他の2つの違い画素には係数1が割り当てられる。 フレームで、及びで、の商業には、係数~3、6、~3が割り 当てられる。しかしながら、本発明の好ましい実施例によると、 フレームT、及びT。では、構成すべき醤素P。と同じ空間座 ほを有する面異 P'を使用する代わりに、フレーム T a の 画黒 P′に割り当てられた運動ペクトル+VまたはフレームT i の 画典P'に割り当てられたベクトルーVの終点に最も近い画案 P',を使用する。この面素 P',には、係数 6 が割り当てられて おり、それを囲む2つの画素P゙。には、第2図に示すように、

係数~3が割り当てられている。これによって、フレーム t。と等値のフレーム t sans について、可能な限り正確な輝度値を得ることができる。このインターレースを解く処理は、50Hzから100Hzへの変換の場合、フレーム t s、 t r、・・・について、より一般的には、T sans pic 中に生じる反知の画像を使用して、 t sans pic 中に生じる全てのフレームについて実施される。

フレームT。、T。、T。からフレームt。及びt。の形成 を実施する方法を、第3回を参照して説明する。これらのフレ ーム t 。及び t 。は、運動補正内郷を使用して生成される。こ れを実施するためには、輝度値の他に、フレームT。では16× 16箇弟のブロックを育するブロック運動ベクトルフィールドが 利用できる場合、このフィールドはフレームT。、T。、T。 から対称に予測されるので、第3図においてXiL表配された 点等のようにフレームも、及びも、の番素について運動ベクト ルを得ることが必要である。本発明によると、使来の型の運動 横正内障に使用されている一般的な技術であるフレームtst たはフレームし、上へのフレームT。の運動ペクトルの投影で はなく、運動ペクトルを再配置を利用する。運動ペクトルの再 配置は、衝突と孔の操作を全く必要とせず、従って、内禅技術 を単純化する。本発明の状況では、フレームし,またはフレー ムt。の点X。,に割り当てられた運動ペクトルは、フレームt。 及びぇ。の点X」。と同じ空間座標を有するフレームT。の画素 X Jを囲む n×n 個の運動ペクトルの1つから構成されている とみなされる。第3回に図示したように、nとして催3をとり、 また、16×16個の画景の各プロックは運動ベクトルに割り当て られていることが知られている。従って、フレームしょまたは

有する面素の値を示し、nはDFDが上記と同じ意味で展小である、すなわち、展小DFDが適切な運動ベクトルの最を小さいDEDである時、最小DFDと比較したそのDFDが関値より小さい運動ベクトルの数である。HD-MAC法の場合、運動ベクトルVuはインターレースを解いた格子に関する特度全体であり、従って、ベクトルVu/2は、各偶数フレーム、すなわち、フレームは、及び(*内で水平方向に0.5面素、垂直方向に0.25面素の程度を有する。さらに、点 X、(Vu/、T。)の値は、双一次式内限、すなわち、下紀の式を使用して得られる:

$$X_{i+1}(\vec{v}_0, T_x) = [X_i(1-dx) + X_idx](1-dy) + [X_i(1-dx) + X_idx]dy$$

(但し、上記式において、X i、X i、X i、X iはベクトル知にによって移動された点 X i)を囲む画典を示し、d x 、 d y はこれらの簡素と点 X i」との移動に対応する。)

本発明による運動シーケンスのタイミングを突接する方法における輝度の処理は、上記に記載した。この輝度の処理は、きらに詳しく含まば、HD-MACデコーダから全じる信号について実施され、特に、輝度値の他に、少なくとも偶数のフィールドが分かっている20msモード及び40msモードに関する。B0msモードの場合、輝度値は使用できるが、0に設定された運動ペクトルは使用できない。クロミナンスの処理については、特額に2つの方法は、AABB型の直接は、運動ペクトルを選択した後、輝度値について実施したのと同様は処理をクロミナンス値について実施することからなる。この時、処理をクロミナンス値について実施することからなる。この時、処理をクロミナンス値について実施することからなる。この時、

特表平6-500910 (5)

1。の点 X 」に割り当てられた運動ベクトルは、第3回に 1、2、3、4、5、6、7、8、9と表記したフレームT。の8、個の運動ベクトルの1つから選択される。選択した運動ベクトルは、実際、DFD、すなわち、フレーム t。についてはフレームT。とで、との間の運動構正関係間差を最小にする。しかしながら、運動中の物体の場合、最小DFDの基準は十分ではなく、特にこれらの物体の重なりによる輪郭の位置ではエ十分である。 伐って、本発明によると、DEDが関値の範囲内で辺接のでもれ、適切な点の値 X 」は運動権正対象内得によって得られる全ての点の値 X 」に対応する。すなわち、X 」(t。)が求める点であり、X 」(t。)がソース点であるとすると、X 」(t。)は下記の等式によって表される:

$$f_{1,i}(t_*) = \frac{\sum_{q=1}^{n} \left[X_{1,i} \left(-\overline{Y}u/2, T_1 \right) + X_{1,i} \left(\overline{Y}u/2, T_2 \right) \right] - 1/2}{n}$$

$$(1 \le n \le 9)$$

£ [1,,(-Ya/2.†,)+K,,(Ya/2.Ta)] -1/2

(.) = n

(1≤n≤9) 使用されていた

2 つの画像から4 つの画像の生成する場合に使用されていた これらの等式は、下記に50Hzから50Hzへの変換の場合で説明す るように、2 N 個の画像から2 N 個の画像を形成する場合に

一般化される。これらの等式で、Xi, (Va、Ta) は、フレームT。内でベクトルVoによってシフトされた座標(i、j)を

DFDは確度について計算される。しかしながら、この技術は、移動された面蓋 $X_{i,j}$ (\overrightarrow{V}_{0} 、 $T_{i,j}$)へのアクセスを必要とする。 本発明の別の実施例によると、従って、このクロミナンス情報 はDFDを計算するために使用されるこの場合、下記の式で表 される:

この新しいDPD。を使用することによって、場合によっては 決定を細かくすることができる。特に、同じ輝度値の背景の的 を移動する物体の場合、色だけ、すなわち、輝度値だけで、正 球な決定が可能である。

上記のように、本発明は、HD-MAC型の信号、特に、20 mmモード及び40mmモード下の信号について記載した。80mmモー ドであるp×p簡単のブロックでは、同じ処理を使用するが、 これらのブロックには毎運動ベクトルが割り当てられている。

30asモードである16×16両景のブロックの処理について、A ABB型またはABAB型のフレーム反復による処理の使用を 考えることができる。

上記の様々な段階を募す図に図示したシステム概略図によって実施することができる。50Rzから100Rzへの変換の場合、従って、少なくともT、T。T。等の3つの連続したフレームの輝度領は面像メモリ等のメモリに記憶されており、偶数フレームT。については、または、組み合わされた運動ベクトルが記憶されている。破綻し、で示したように、フレーム 1 、を得るために、フレームT。を同様にしてコピーする。フレーム 1 、を得るためには、フレームT。の4ンターレースを解くこと、

特表平6-500910 (6)

T..では-V。、+V。によって運動ベクトルが示される。 本発明の方法によると、フレームし、は、フレームT」をコピ ーすることによって得られ、プレームしっは、偶数ラインだけ "を保持して、フレームで。のインターレースを解くことによっ ono. Junata, talta ta ta ta フォ、 ヒ ハ、 ヒ フォに関しては、2つの隣接するフレ て、とフレーム研算器の比に答しい幅を備える対応する運動べ クトルを使用して、運動を補正することによって得られる。 従って、フレームしょは、フレームT、 T、T、とー5/6 Vェ とー1/6V。によって示される対称に評価された運動ベクト ルのフィールドを使用して得られる。同様に、フレームt。の 退合は、また、フレームTi、Ti、Tiを使用するが、運動べ クトルはー4/6V, と2/6V, である。フレームTi及び Tsの場合は、フレームTs、To、Tsと各々ー3/6Vi、 3/6V,及び-2/6V,と4/6V,によって示される連 動ペクトルを使用する。フレームt。及びt。の場合、フレーム T:、T:、T:と各々-1/6V:、5/6V:及び~5/6V. 1/6V。によって示される運動ペクトルを使用する。フレー ム t 。及び t ioの場合は、フレーム丁・、To、Toと各々ー4/6 V o、 2/6 \overline{V} . と-3/6 \overline{V} 、 3/6 \overline{V} . によって示される運動 ベクトルを使用する。フレームしい及びしょの場合は、フレー AT. TI.及UT.1と各々-2/6 V. 4/6 V.と-1/6 V.

使って、一般的に、近便の空間座標を有する偶数の原知の函 使工。と囲む2つの奇数画像工。一及び工。...から内博される べき画像の郵業X...の課度値は、下記の等式から得られる: 1. 画像 t 。が画像工。...と工。との間にある時、

5/6V. を使用する。

$$X_{1,1}(tq) = \frac{\sum_{x} \left[X_{1,1}(-\overrightarrow{v_0} \times \frac{1}{A} T_q, ...) + X_{1,1}(\overrightarrow{v_*} \times \frac{A-1}{A} T_q, ...) \right]}{1 + \frac{1}{A} T_q \cdot 1}$$

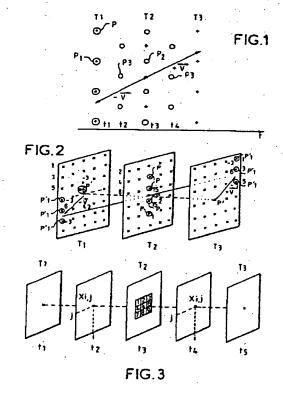
(但し、上記式において、m≤n×n及びAは頭像関距離による)

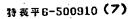
2. 画像も、が画像ていとていいとの間にある時、

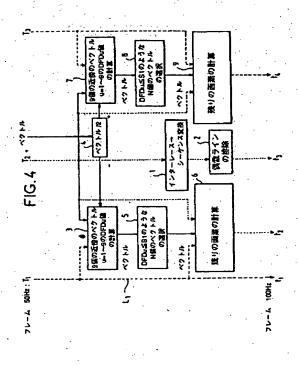
$$\chi_{1,j}(tq) = \frac{\sum_{n=1}^{\infty} \left[\chi_{1,j}(-\vec{r}_0 \times \frac{1}{A}, T_{n+}) + \chi_{1,j}(\vec{r}_0 \times \frac{A-1}{A}, T_{n+}+1) \right]}{1 + \left[\chi_{1,j}(tq) + \chi_{1,j}(\vec{r}_0 \times \frac{A-1}{A}, T_{n+}+1) \right]}$$

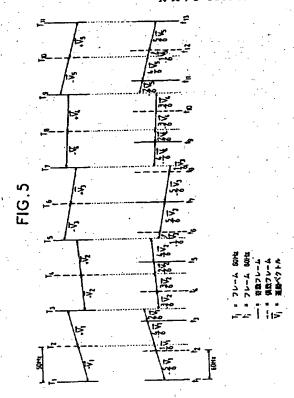
(但し、上記式において、m ≤ n × n 及びAは画像間距離に上

従って、上記の実施例は、f = (N/N)F 等の任意の周波 数変換を実施するために、当業者によって内障できることは明 らかである。









	医静贝麦	# # [PCT/TR	92/00372
Int According to 13. PROL	SEPTEATION OF SUBJECT MATTER .C1.5 NG48 7/01 E 04N 5/44 I Introduced Fitted Cleonification (IPC) or to both DF SEARCHED TO SEARCHED TO SEARCHED		ed SPC	
	.CI.S H O4M	and the part monaces		r Relay named and
Danie de	to trace uniteralized d'uning the externative of especia (Annee o	of depth bases and whose par	material to	
C DOCU	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT			
- پسوست	Coulos of Security, with indication, where o	مادين و در مادين	n breeden	Reference dates N
x	Proceedings of the Second Workshop on Signal Process L'Aquils, 29 Pebruary - 2 (Amsterdem, ML), D. PELS conversion by motion estimates pages 119-128; see the who	March 1988, et al. : "Fi	Elsevier ald-rate	
Y	 · .			3,4-5
	Proceedings of the Third verkahop on Siyan Proces 30 August 1989. Elsewist, and the second state of the second sec	ing or moly, (Amsterdam, can rate ive velghted , see Abstrac hes 3-20; pag	WLI.	
	r drawpown are listed to the marking string of Sea C.		mily sees.	
* * * * * * * * * * * * * * * * * * *	integrine of stant demonstration of the set which had managed as a chair of the set which had not been a standard as a chair of the set which had not been a standard file of the set which is a chair of the set when a chair of the set which is a chair of the set when a chair of the set which is a chair of the	The second set of the second s		author the glad or embed promision or or granted inspector or or particular inspector or garaged inspector or party when the desired property and particular property and particular property in a particular property property in a particular property prope
08 50	ptember 1992 (08.09.32)	Daniel milling of the 14 DC EDD 0 E	1992 (1	4.10.72)
	elis; eterms of the DA' non-Patent Office	Anthonia officer Takahan Ma		•

	DOCUMENTS CONCEDED TO ME MELBYANT	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	Clabor of description, with indicators, where appropriate, of the referent proveget	Reference to date 10
Ψ΄.	Processings of the Third International Workshop on Signal Processing of NDTV. Turin, 10 August 1989, Elsevier, (Amstardas, Mi). FM. NANG et al.; "Time-recursive sotion compensated deinterlacing", pages 835-442, sea abstract; figure 1; page 838, lines 4-24; page 638, lines 10-24;	
		1, 2, 4
	Proceediage of the Third International Workshop on signs! Processing of NOTD, Turin. 10 August 1989. Fleavier. (Ameterdam, Nil, K. NACHIRI et al. 'A motion compensated falsi rate conversion algorithm', pages 649-55), assaurated, figures in compensated interpolation for the compensated interpolation for the compensated interpolation for 100RT upconversion", page 631, paragraph 4: "Tamporal constitution in the motion	4-6
	estimation algorithm, page 651	1,14
*	ISE Colloquium "Image Processing for HDTV". 26 October 1989, (London, GB), G.N.X. PENKARDO; "Rotice compensated display conversion", pages 4/1-4/3, see the whole document	1, 4/3, 13, 14
۸	Proceedings of the Second International Wookshop on Signal Processing of EUTY, L'Aquils. 29 February - 2 March 1988, Elsevier, Apaterdam, Nh.], N. EUNST et al.: "Adaptive filtering for improved standards conversion", pages 645-659, see abstract; page 853, liams 5-34	1, 3
	TP. A. 0294950 (SONY CORP.) 14 December 1988, see abstract: claims 9-16	1-3
	NO, A, 8910500 (N.V. PHILIFS' -CLORILAMPENFABRICKEN) 2 November 1989, see abstract; claims 1, 5, 6	1. 3-1
A	SRTT Journal, vol. 98. No. 4, June 1999, (White Plains et US) - Robert et al. Advence 1994 et 1995 et 200 et 30-8 standard Advence 1996 et 20-214, see abstract; page coverator, pages 10-214, see abstract; page 124, aiddle colonn, lines 45-55, figures 1, 2,	1, 10, 11
	-/	

舒表平6-500910 (B)

		Nation No. 1, 92/00392
C(Omina	DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT	
		
Carrier,	Charles of decreased, with Indignities, whose appropriates, of the substant principal	Refress to string (fig.
^	IEEE Transactions on Consumer Electronics, vol. Cr. 31, No. 4, November 1935, (New Fork, US), H.SCHRÖDER et al.: "Scanning modes for flicker-free celeur tr expreduction". peges 627-641, see page 530, right-hand column, 1	2, 16
- 1		
. 1		
	•	
1		
-]		
- 1	•	
.	•	
- 1		
	•	
. 1		
- 1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
.		
	•	
l	***	
- 1		
ı		
!		
	••	•
- 1		
- 1		
- 1		
ı	·	
1	•	
- 1	·	
- 1	•	

FR 9200592
SA 61258
Same from the day person bendy in the person of the control o

EP-A- 0294958	14-12-68	EP-A- 0294959 GB-A.8 2205707 GB-A.8 2205707 JB-A- 63113799 JP-A- 6400677. US-A- 4862265 US-A- 4862267	14-12-88 14-12-88 14-12-88 22-12-88 05-01-89 23-09-89 29-09-69
NO-4- E910600	02-11-69	FR-A- 2530842 EP-A- 0341769 JP-T- 2504218 US-A- 8060064	03-11-09 15-11-09 29-11-90 22-10-91